

## 浅間山の火山活動解説資料

気象庁地震火山部  
火山監視・情報センター

8月10日02時37分頃、浅間山でごく小規模な噴火が発生しました。  
同日、群馬県の協力により行った上空からの観測では、降灰は認められませんでした。

浅間山では、火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)が継続中です。  
引き続き、火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。火口から概ね2kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

### 活動概況

8月10日にごく小規模な噴火が発生しましたが、その後の火山活動に大きな変化はありません。  
地震活動や地殻変動に特段の変化はみられません。

#### ・噴火の状況(図1)

8月10日02時37分頃、山頂火口でごく小規模な噴火が発生し、噴煙が火口縁上400mまで上がり、南東に流れるのを観測しました。その後、噴火の発生はなく、噴煙高度100~200m程度で推移しています。

浅間山で噴火が発生したのは2004年12月9日以来です。

#### ・上空からの観測結果(図2、図3)

本日、群馬県の協力により行った上空からの観測では、降灰は認められませんでした。前回の観測(2008年7月24日)と比較して、噴煙の量はやや多くなっていましたが、火口内の地形に大きな変化はありませんでした。また、火口底中央部とその周辺部に引き続き高温領域<sup>注1)</sup>が認められましたが、その分布に大きな変化はありませんでした。

#### ・地震活動及び地殻変動の状況(図4、図5、図6)

火山性地震<sup>注2)</sup>及び火山性微動はやや多い状態が続いています。

なお、02時34分から約3分間、火山性微動を観測しました。

地殻変動に特段の変化はみられません。

---

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号:平17総使、第503号)。

この資料は気象庁のほか、国土交通省利根川水系砂防事務所、東京大学、独立行政法人産業技術総合研究所及び長野県のデータも利用して作成しています。



図1 浅間山 2008年8月10日02時37分の噴火  
この画像は高感度カメラ(長野県建設部佐久建設事務所の浅間山山頂火口のおよそ3km西の黒斑山山頂設置の監視カメラ)によるもので、温度の高い部分が赤く映っています。



図2 浅間山 東北東上空から撮影した火口内の状況

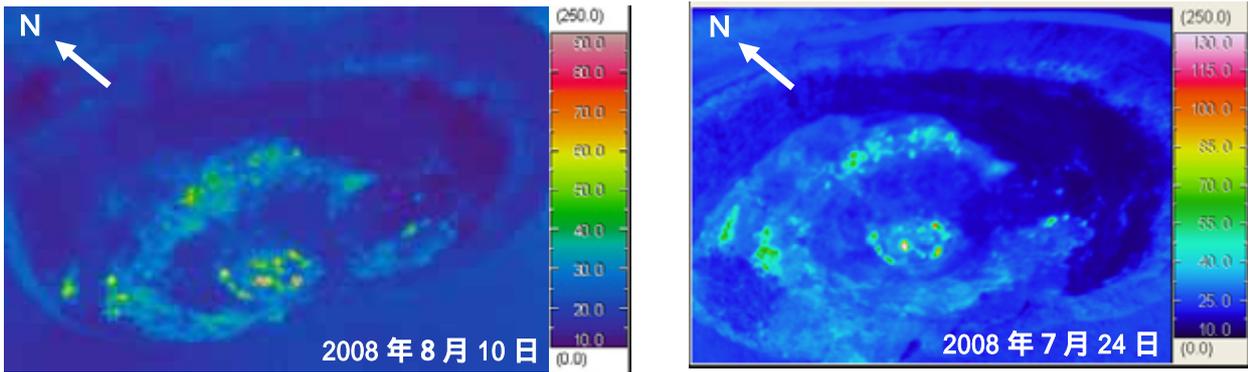


図 3 浅間山 山頂火口内の状況と温度分布

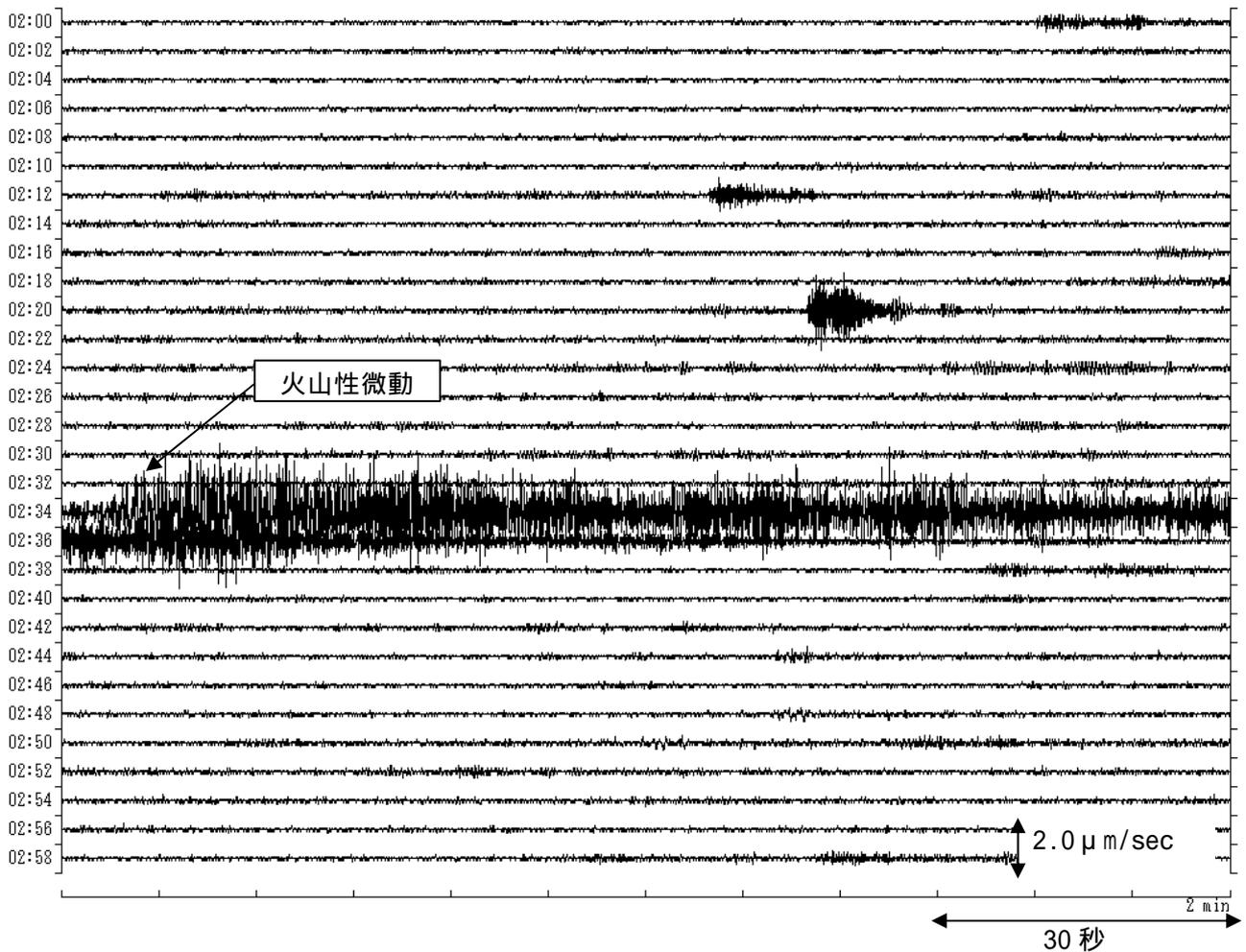


図 4 浅間山 B 点上下動の噴火発生前後の震動波形（8 月 10 日 02 時 00 分～03 時 00 分）

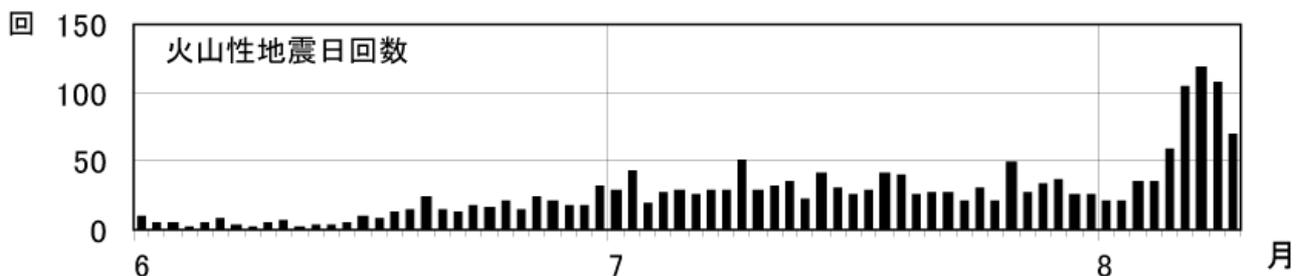


図 5 浅間山 火山性地震の日別回数（2008 年 6 月 1 日～2008 年 8 月 9 日）

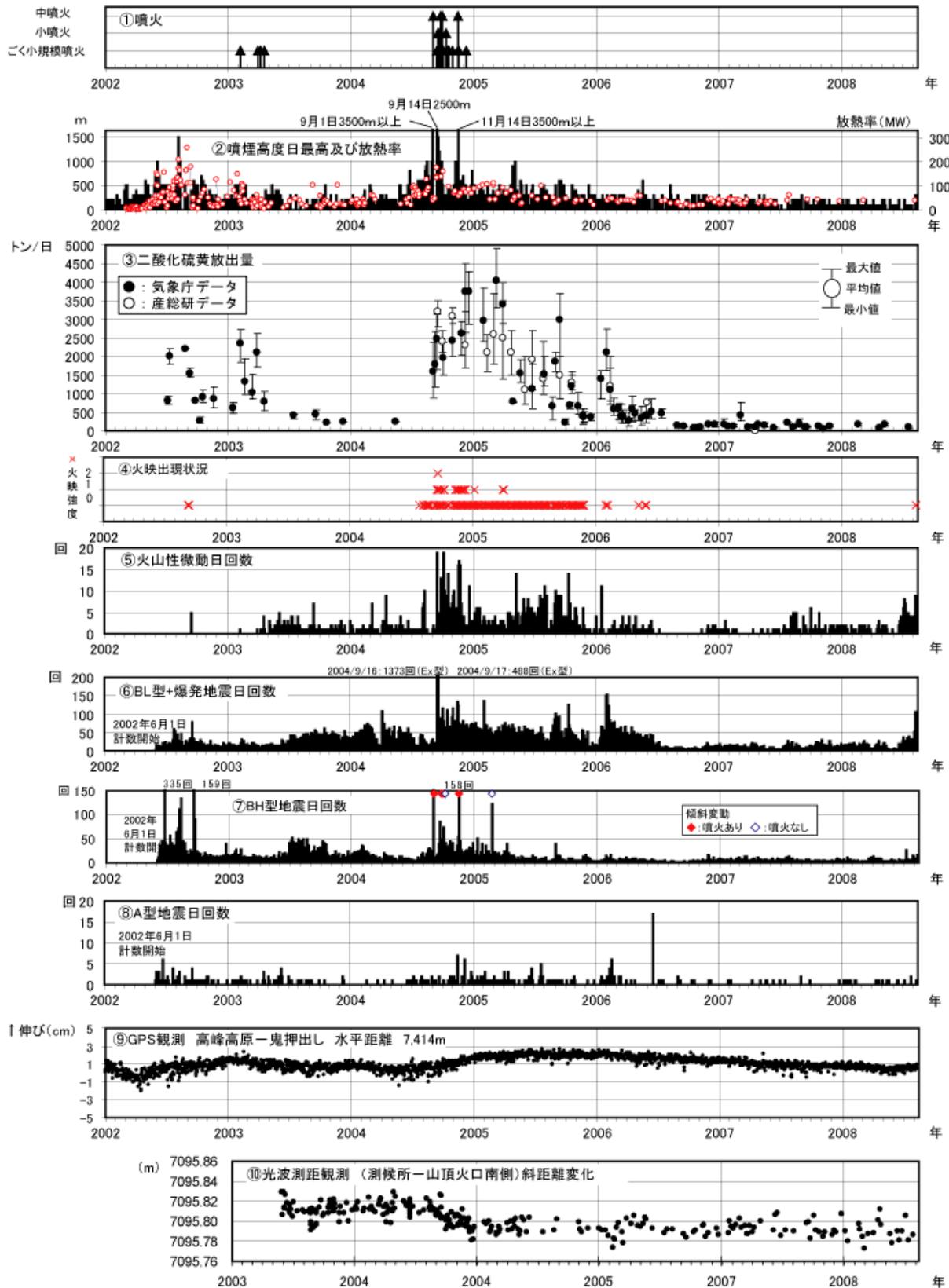


図6 浅間山 最近の火山活動の推移(2002年1月~2008年8月9日)

注3を参照。

独立行政法人産業技術総合研究所による観測結果が含まれています。

注4を参照。

地震の種類別(図8参照)に計数を開始した2002年6月1日からのデータを掲載。

2008年8月9日に観測された火映は、黒斑山の監視カメラにより観測されました。同カメラ画像は、2006年7月から、監視に利用しています。

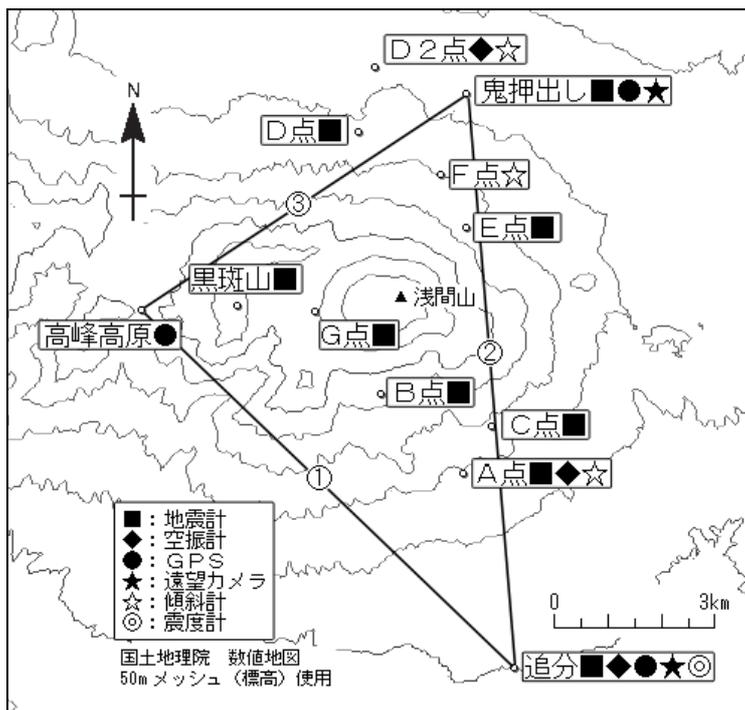


図7 浅間山 気象庁の観測点配置図(小さな白丸は観測点位置を示しています)  
GPS 基線 は図6の に対応しています。

注1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感じて温度を測定する測器で、熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

注2) 火山性地震の計数基準はB点で最大振幅0.1 $\mu$ m以上、S - P時間3秒以内です。  
火山性地震の種類は以下のとおりです。

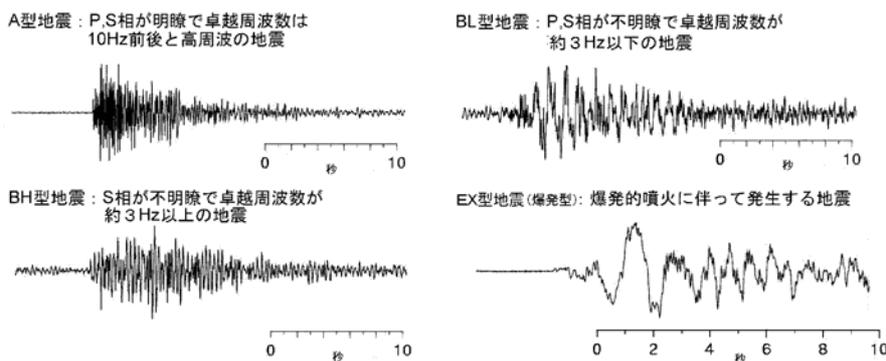


図8 浅間山 主に発生している火山性地震の特徴と波形例

注3) 噴煙高度は定時観測(09時・15時)の日最大値です。

注4) 火映の強度は以下の4段階で観測しています。

- |                               |                         |
|-------------------------------|-------------------------|
| 0 : 肉眼では確認できず、高感度カメラのみ確認できる程度 | 1 : 肉眼でようやく認められる程度      |
| 2 : 肉眼で明らかに認められる程度            | 3 : 肉眼で非常に明るい色で異常に感じる程度 |
| - : 火映なし                      | x : 視程不良(終日観測できなかった場合)  |